

科目	義肢装具学実習	担当	飯塚 照史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

義肢装具学実習では、主に上肢装具と下肢装具の構造や特徴について学ぶ。上肢装具については、スプリント療法を中心に、評価から作製までの一連の過程について実習を通して理解することを目標とする。義手、義足については、その構造、種類、機能、特徴、適合等について実際の症例を交えた実習を通して理解することを目標とする。

【履修注意】

解剖学・運動学・整形外科学などの知識が基礎となる。実際に多くの装具を作製し、理解を深めてほしい。

なお、予定変更の場合がある。

【評価方法】

実習レポート(装具作製記録)、期末試験、受講態度、出席状況を総合して評価する。

講義回数2/3以上の出席に満たない者は評価対象から除外する。

【試験について】

(教科書・資料等持込不可)

再試験対象者の条件: 本試験で40点以上60点未満の者

【予習・復習】

本授業と関連の深い義肢装具学、身体障害作業療法学等を十分に予習あるいは復習しておく必要がある。

【教科書】

書籍名: 作業療法全書第9巻「義肢、装具、リハビリテーション関連機器、住宅改造」 出版社: 協同医書(購入済み)

【参考書】

書籍名: 手のスプリントのすべて 第3版 著者: 矢崎潔 出版社: 三輪書店

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	スプリント療法の基礎知識	オリエンテーション、基礎、評価、作製概論
2	末梢神経損傷用装具1	母指対立スプリントA(アクアブラストによる作製)
3	末梢神経損傷用装具2	母指対立スプリントB(レナサームによる作製)
4	訓練用装具1	背側カックアップスプリント・構造・特徴
5	訓練用装具2	背側アウトリガースプリント・構造・特徴
6	訓練用装具3	掌側カックアップスプリント/グローブスプリント・構造・特徴
7	訓練用装具4	スクリュースプリント・構造・特徴
8	訓練用装具5	カペナースプリント・構造・特徴
9	スプリント療法の臨床実践	評価・スプリント作製後のフォローアップ・診療報酬請求
10	スプリント作製のまとめ	事例検討・集団討議・発表
11	下肢装具の基礎1	下肢装具の構造・種類・適応
12	下肢装具の基礎2	下肢装具の評価・治療的応用
13	期末試験	まとめ・復習・確認
14		
15		
16		